

小学校入学に向けて



子どもが 輝くために 大切にしたい 5つのこと

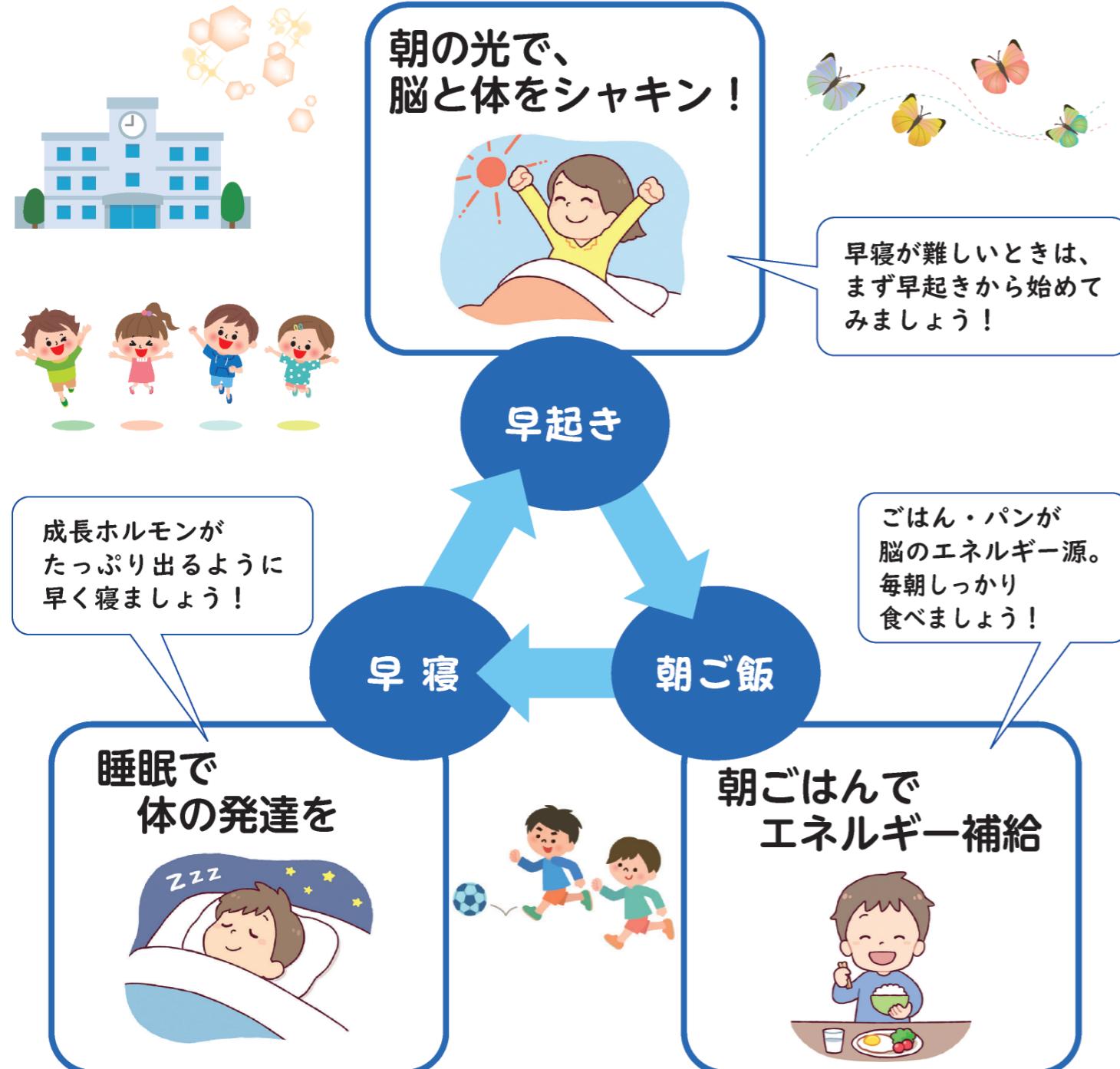


子どもは、家族とのあたたかいふれあいの中で、
社会へ巣立っていくための、大切なことを身に
つけていきます。

体と心の 土台を 育てましょう!

①やっぱり大事！生活リズム

小学校で自分の力を思いきり伸ばしていくために、生活習慣を整えることは何より大切です。規則正しい生活リズムは、学習意欲や体力、気力の向上につながります。



②大人は子どもの「安心基地」

自分の気持ちや考えを受け止めてもらえると、子どもは安心したり、大切にされていると感じたりします。自分を大切にされることが、周りの人を大切に思う気持ちにつながります。

ポイント

- ・目を見てじっくり聞く。
- ・大人の意見を押しつけず、「くやしかったね」など、子どもの感情を言葉で返し、共感して聞く。
- ・「ダメ」と否定せず、「どうすればいいかな」などと問い合わせ、自分で考えさせる。



子どもの主体性を
大切に！

③あたたかい「まなざし」が心の栄養

ほめられると自分に自信がつき、積極性や向上心、苦手なことにチャレンジする意欲が出てきます。家族に認められることは、前向きな気持ちを高め、子どもの可能性を伸ばし、自信をもたせることにつながります。

ポイント

- ・人と比べず、その子自身の小さな成長を見て伝える。
- ・結果だけではなく、がんばろうとしている姿勢や、それまでの過程、今できていることを認める。
- ・その場で、具体的に良い点をほめる。
- ・ささいなことにも「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える。
- ・子どもが「生まれてきて良かった」と思えるような、存在を認める言葉かけや関わりをする。



「～ができたね！」
「～ならできる！」
「よく頑張ったね！」

「～してくれてありがとう。」
「～のおかげで助かったよ。」



お手伝いは、
認めてほめて
自信をもたせる
チャンスです！

④家族で楽しむ読書の時間

小さいうちにたくさんの本にふれることで、いろいろな感情を味わい、豊かな感性や思いやり、さらに想像力や表現力、考える力も育ちます。ぜひ、読書することを習慣にしましょう。

ポイント



- ・家族で「読書の時間」や「読書の日」をつくり、読み聞かせなどをする。
- ・本を通してコミュニケーションをとる。
- ・図書館に出かけ、たくさんの中身にふれる機会をつくる。



⑤みんなで守ろう！家族のルール

子どもは家庭でのルールを通して、人との関係のあり方や社会のルールの大切さを学んでいきます。あいさつや返事、ゲームをする時間、動画を見る時間など、家族でルールをつくり、みんなで守りましょう。

ポイント

- ・子どもの思いを聞き、いっしょにルールをつくる。
- ・まずは大人が手本となってルールを守る姿を見せる。



大人がよい行動をすることは、
子どもへの大切な贈り物です。



ご家庭でも、学校での出来事や学習内容などに 관심をもち、
子どもの話を聞きながら、あたたかいふれあいの時間を増やしましょう。
大人が幸せを感じ笑顔でいる家庭でこそ、子どもが笑顔になり
幸せを感じられます。

